



研修番号 16

令和6年度 看護研究・活動報告会のご案内

日頃の看護活動の課題を研究的に深めて得られた知見や、新たな取組の成果の発表が19演題集まり、どれもたいへん興味深いテーマです。(裏面参照)

市内の看護職の仲間と活動や学びを共有し、意見を交わし、あなたの明日からの実践や研究へのチャレンジに活かしてみませんか。一人でも多くの方が参加しやすいよう、午前・午後の2部制にいたしました。ZOOMでの参加も大歓迎です。

日時:令和7年2月27日(木)9:30~16:00

午前の部: 9:30~12:00 (9:00 受付開始)

午後の部: 13:30~16:00 (13:00 受付開始)

場所:川崎市ナースングセンター研修室・ZOOM 併用

講評:川崎市立看護大学

糸井 裕子 先生 岩瀬 和恵 先生 荒木田 美香子 先生

対象:看護研究・活動報告に関心のある方

参加費:無料

募集人数:会場 40名 ZOOM参加 100名程度

企画・運営:川崎市看護協会 教育委員会

申込方法:川崎市看護協会ホームページ または二次元コードから

<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training>



1日または午前・午後の希望のページを選んで、必要事項を入力してください。折り返し受付完了メールが返信されます。

ZOOM参加の方には2月25日にID/パスワードをお送りします。

申込期間:令和7年1月10日(金)~令和7年2月20日(木)

問合せ先:地域・研修担当 酒井・佐藤

〒211-0067 川崎市中原区今井上町1-34 和田ビル3階

公益社団法人川崎市看護協会 Tel 044-711-3995

MAIL mail1@kawa-kango.jp

プログラム(予定)

《午前の部》

第1群【研究発表】 9:40~10:50

敬称略

| | 演 題 | 発表者 |
|---|---|----------------|
| 1 | A病院ICUにおけるせん妄発症の現状把握 —評価スケールの使用状況からみえた課題— | 川崎幸病院 原田 鈴夏 |
| 2 | 糖尿病と診断された患者の自己血糖測定手技獲得時の心理状態とその看護—フィンの危機モデルを用いて看護援助を振り返る— | 川崎市立井田病院 石井 菜穂 |
| 3 | A病院における外来看護師の患者接遇の現状 —看護師評価と患者評価を比較して— | AOI国際病院 長谷川 玲奈 |
| 4 | 覚醒不良に伴う誤嚥性肺炎予防 | かわさき記念病院 松澤 真 |
| 5 | 褥瘡、スキンケアのケアに対する現状—勉強会実施による看護師の意識変化— | 太田総合病院 山田 香 |

第2群【研究発表】 11:00~12:00

| | | |
|---|--|------------------------|
| 6 | 病棟における身体拘束体験—安全への意識の変化— | 川崎みどりの病院 寺島 千春 |
| 7 | モニターアラームに対する看護師の意識変化 | 日本鋼管病院 岡田 ひとみ |
| 8 | 看護計画を充実させるための取り組み —効果的なカンファレンスによる意識改革— | 太田総合病院 内山 美保 |
| 9 | 看護師のモチベーション調査と職務継続へのアプローチ方法の検討—ポジティブフィードバックの妥当性について— | 聖マリアンナ医科大学病院 鈴木 あすか |

《午後の部》

第3群【活動報告】 13:30~14:35

| | | |
|----|---|-----------------------|
| 10 | 術中アナフィラキシーショックから見えた課題への取り組み | 川崎市立川崎病院 岩見 信恵 |
| 11 | CCOT (Critical Care Outreach Team) 導入後の成果 —ラウンド回数の変化と予期せぬ急変事例数の比較— | 川崎市立多摩病院 木村 保美 |
| 12 | 非がん患者へACPを通しての11西病棟の課題 | 聖マリアンナ医科大学病院 小池 栄子 |
| 13 | 看護師による抗がん剤注射穿刺の現状と課題 —静脈注射レベル3制度を活用して— | 川崎市立川崎病院 渡邊 恭子 |
| 14 | 電子カルテシステムにおける看護記録方式変更のプロセス —フォーカスチャータリング®からF-SOAIIPへ— | 総合新川橋病院 平松 智子 |

第4群【活動報告】 14:45~15:50

| | | |
|----|--|------------------------------|
| 15 | A病院救命救急センターにおける多職種カンファレンスの実践報告 | 川崎市立川崎病院 澤田 かおり |
| 16 | 新卒から訪問看護師を育てる—法人の強みをいかした育成— | おおしま訪問看護ステーション 小森 千絵 |
| 17 | 腎センター災害への取り組み—地域と支えあう災害時透析医療— | 川崎市立多摩病院 石渡 希恵 |
| 18 | 地域店舗での防災啓蒙“夏休み企画いつものもしもを考えよう” —第二川崎幸クリニック災害ボランティアナース会の活動— | 第二川崎幸クリニック 湊辺 有紀 |
| 19 | 看護連携推進委員会の取組—「看護サマリーに記載してほしい情報」に焦点を当てて— | 看護連携推進委員会 (ソエルテナース) 山上 明日 |